

平成22年度科学研究費補助金(4月1日交付内定分)の配分について

平成22年度科学研究費補助金（4月1日交付内定分）については、応募のあった約12万5千件の研究課題に対して、約5万7千件を採択し、総額約1,353億円（直接経費）の交付を内定しました。

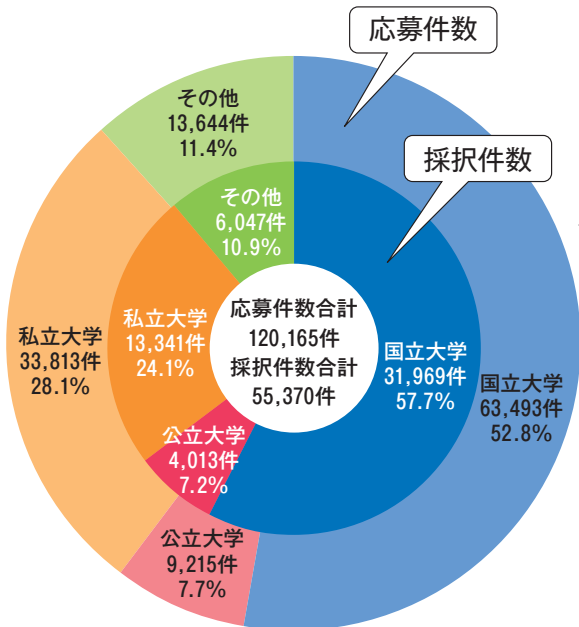
このうち、新規研究課題については、約8万8千件の応募に対し、約2万件を採択し、総額約474億円（直接経費）（採択率22.4%）となりました。

なお、今回は4月1日時点の配分状況を公表するものです。

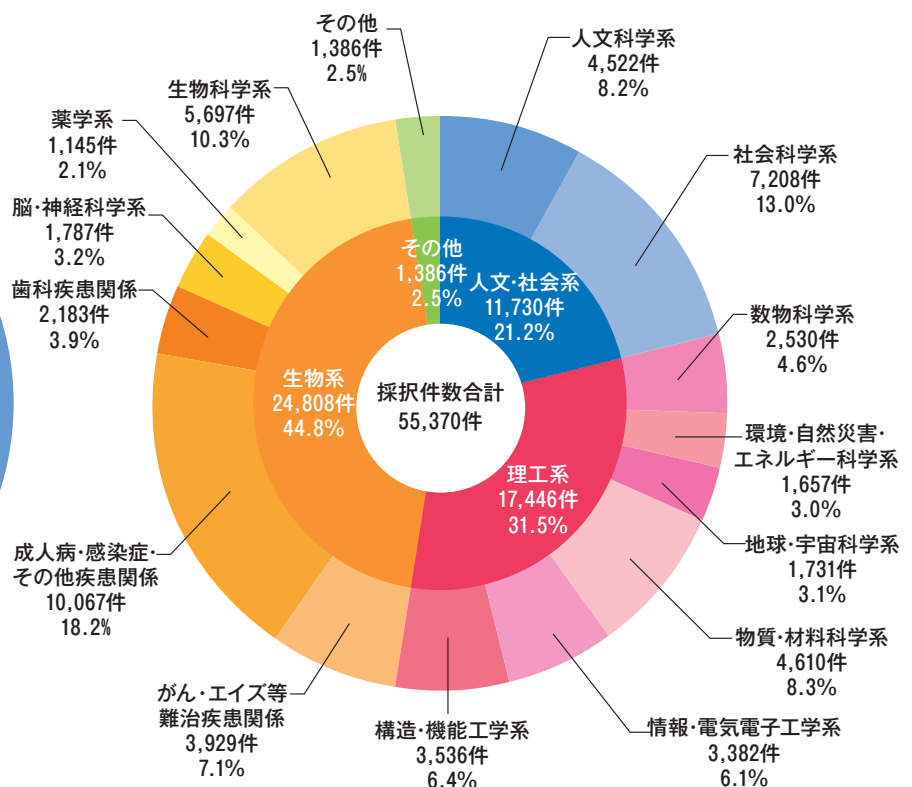
区分	研究課題数			配分額 (百万円)	1課題あたりの配分額	
	応募件数	採択件数	採択率		平均(千円)	最高(千円)
新規採択+継続分	124,915件	56,624件	45.3%	135,329	2,390	274,700
新規採択のみ	87,869件	19,683件	22.4%	47,437	2,410	33,200

※研究成果公開促進費、学術創成研究費含む。

応募・採択件数（研究機関種別）
(新規採択+継続分)



採択件数(分野別)
(新規採択+継続分)



※平成22年度科学研究費補助金のうち、特別推進研究、特定領域研究、新学術領域研究（研究領域提案型）（継続領域）、新学術領域研究（研究課題提案型）、基盤研究、挑戦的萌芽研究、若手研究、研究活動スタート支援及び学術創成研究費の研究課題（新規採択+継続分）の当初配分について分類したものである。（特別推進研究、新学術領域研究（研究領域提案型）（新規領域）、基盤研究（S）、研究活動スタート支援の新規課題を除く）

※四捨五入の関係上、合計と内訳の数値が一致しないことがある。

4. 科研費トピックス

平成22年度科学研究費補助金の交付内定(4月2日以降)について

科学研究費補助金制度では、研究者の方々ができるだけ早く研究に着手していただけるように、採択課題の交付内定通知の早期化に努めています。

4月2日以降、下記の研究種目について、交付内定を通知しました。

文部科学省交付分

平成22年4月21日付 「特別推進研究（新規）」

平成22年6月23日付 「新学術領域研究（研究領域提案型）（新規研究領域）」

日本学術振興会交付分

平成22年4月23日付 「特別研究員奨励費（第1回）」

平成22年5月31日付 「基盤研究（S）（新規）」

平成22年7月23日付 「特別研究員奨励費（第2回）」

平成22年度科学研究費補助金の採択課題の公開について

平成22年度科学研究費補助金の採択課題については、国立情報学研究所の科研費データベースで公開しています。

科研費データベースでは、過去の研究実績や研究成果の概要も公開しています。（採択課題については昭和40年度分から、研究実績や研究成果の概要については昭和60年度分からのデータを収録しています。）

利用方法などの詳細については、下記の国立情報学研究所の科研費データベースをご確認ください。

国立情報学研究所の科研費データベース <http://kaken.nii.ac.jp/>

平成22年度科学研究費補助金の審査結果等の開示について

科学研究費補助金の審査結果等については、昨年度まで紙媒体により通知しておりましたが、平成22年度より電子申請システムを利用した電子的開示を下記の要領で行っています。

開示期間

- 平成22年7月3日（土）～平成22年11月10日（水）

対象種目

- 新学術領域研究（研究領域提案型）（公募研究）、特定領域研究（公募研究）
- 基盤研究、若手研究、挑戦的萌芽研究

開示内容の開覧方法

- 独立行政法人日本学術振興会のWebページ「電子申請のご案内」（<http://www.shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html>）に掲載の「応募者向け操作手引（審査結果開示用）」をご確認ください。

※審査結果等の開示は、審査の結果採択されなかった研究課題及び審査に付されなかった研究課題について、研究計画調査書提出時に開示希望のあった研究代表者に対して行うものです。

小・中・高校生のための
プログラム



KAKENHI

「ひらめき☆ときめきサイエンス」とは、大学で行っている最先端の科研費の研究成果について、小中高校生の皆さんが、直に見る、聞く、ふれることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

平成21年度「よく工夫されたプログラム」の事例紹介



『生物の多様性を考える
—土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用—』

安田 弘法
(山形大学・農学部・教授)

土壌微生物や昆虫の観察、植物の分析などの実験を通して、農学の面白さがわかった。



『からだで感じる日本の男と女
～日本舞踊を踊ってみよう～』

猪崎 弥生
(お茶の水女子大学・大学院人間文化創成科学研究科・教授)

日本舞踊における男らしさ、女らしさの動きを実体験。



『「遺伝について楽しく学ぼう」』

森藤 香奈子
(長崎大学・医歯薬学総合研究科・助教)

人の身体の変えられない特徴は遺伝によるもので、変わる特徴は環境によるもの。

平成22年度も、夏休みを中心に、多くの体験プログラムを実施しています。
詳細は、<http://www.jsps.go.jp/hirameki/> をご覧ください。